

春の夜空に光の大輪
横雲橋下流で花火大会

4月27日、横雲橋下流側の阿賀野川河川敷で、リップ実行委員会の主催により花火大会が開催されました。この花火大会は、誰でも気軽に手軽に参加できる花火大会を目指し、個人の花火好きが集まって実行委員会を結成、準備が進められてきました。打ち上げの申し込みには、町内や新潟市をはじめ周辺市町村の個人やグループ、遠くは大阪府や兵庫県からもありました。

まだ明るさが残る午後7時すぎに打ち上げ開始。色とりどりの光の大輪が、春の夜空と水面に明るく咲くとともに、大きな音が響き渡りました。今回打ち上げられたものは、小さなものは直径9cm、大きなものは1尺(約33cm)、スターインなど84発。打ち上げられるたびに、大きな歓声が上がっていました。

“リップ”とは“波紋”という意味の英語で、花火好きの輪と今後もこのようないベントが波紋のように広がってほしいと主催者側では話していました。



第1回横越町商工大祭 8月2日(土) 開催!

横越町商工会では、地域の皆さんに楽しいひとときを過ごしていただき、長引く不況を吹き飛ばし、地域の活性化につなげようと「商工大祭」を開催します。

◆開催日 8月2日(土) 正午にオープニングセレモニー

◆会場 役場前の駐車場

◆催し物の内容 商工業者PRコーナー、フリーマーケット、食べ物・飲み物コーナー、縁日コーナー、建築組合PRコーナー、木工教室、ステージイベント(郷土芸能披露等)、山車コンテスト、夜はビアガーデン&カラオケ、フィナーレはお楽しみ抽選会など



—フリーマーケット出店者募集中—

商工大祭のフリーマーケットに出店を希望される方を募集しています。

◆出店資格 町内在住の方(ただし、代表者が20歳以上)

◆出店料・スペース 500円 間口:1間×奥行き:1間程度

◆出店申込 6月20日(金)までに商工会に備えてある申込書に必要事項を記入し、出店料を添えて提出してください。出店申込が多数の場合は、商工会で出店調整させていただきます。

◆問い合わせ 横越町商工会 ☎385-2773(横越町中央1丁目1番5号)

短歌

(公募作品)

チューリップわが誕生日に切りとりて祝膳の部屋に妻は飾れり
人情の心伝える芝居にて現代に生きる吾に問い合わせ
せつかくの休みの日にも『部活有り』覚悟したけどやっぱり辛い
雪まつり歓声あがる大花火雪を焦がして消えてゆきたり
チューリップ祭り花火が横越の夜空に輝き田水につる
合併の風が吹きて吾が町は二年過ぎれば大都市となる
様々な花の香りをすい上げて晩春の満月空に輝く
春の陽を背なに受けつつ河原邊に蓬摘みたり夕暮るる迄
雪消えてすぐに芽吹きしクロッカス花二つ咲く今日のこの庭
肌寒く小雪舞う中さんしゅうの黄色き花は早春告げる
愛し子に服着せること梨の実の一つ一つに袋を掛ける
ピカピカのランドセル背に孫二人揃つて元気入学の日迎ふ
妻よさは危ぶむなけれ事あらばなす術あらむ時にのぞみて
甘露煮の柚子の香りいっぱいに熱いお湯にて解し味わう
烟打てば目覚めし蛙鉄先にとびだしまさに吾に向きたり
薄明に我が訪れしハウスには種子の萌え立つ白き剣山

神楽や民踊の祭典!! 第2回 横越町郷土芸能祭 6月15日(日) 入場無料!!

横越町文化協会では、各地域に伝わる神楽や民踊を多くの方に知って頂くため、「郷土芸能祭」を昨年から開催しています。

今年は二本木を舞台に開催し、完成したばかりの「蟻乃実盆唄」や子どもたちによる創作太鼓の披露をはじめ、神楽舞や民踊など見どころいっぱいの楽しい2時間です。
申込不要・入場無料で、どなたでもご覧になれます。

◆日時 6月15日(日) 午前10時~12時

◆会場 横越勤労者体育センター

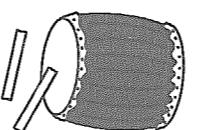
(横越町二本木3-2-50)

◆入場料 無料!!

◆主催 横越町文化協会

◆問い合わせ 横越町文化協会事務局

(中央公民館内 ☎385-2043)



藤 小木木木沢沢沢沢沢上新潟市
山 杉杉津津津海海海海根町
田 村保科坪谷清田菊地中村千代美
文彦 トキイ里舟雅博雅美
マツノ 蘭山寿磨ウタ
中川マツノ 今井清谷
田村 トキイ里舟
文彦
17 2003.6 信濃よこし



→ 昨年開催された第1回郷土芸能祭

町の花チューリップを使って 小学6年生がチューリップ染めに挑戦

4月28日、横越小学校6年生101名は、昨年11月に植えて満開となった黄色のチューリップの花びらを摘みましたが、風や急激な天候の変化で6,000本のうち1/3しか摘み取ることができませんでした。そこで、沢海の農家の協力により6,000本分の花びらの提供を受け、4月30日、小学校でチューリップ染めを行いました。

子どもたちは花びらと“がく”に分け、ビニール袋に花びらと酢酸を入れてよくもみ、大きな容器に入れて色素を抽出。5月12日に抽出液にハンカチーフを漬け込み、染色しました。コサージュ作りは来年1月に行う予定だそうです。

このコサージュ作りは、チューリップが町の特産物となっていることを知るとともに、やさしい心を育てる目的で12年前から行われているもので、子どもたちが作る黄色いコサージュは、来年3月に6年生が胸に付けて卒業式に臨むことになっています。



たけのこや竹林に親しんでもらおうと開催 11回目となった竹のこフェアーフジコマ

5月11日、たけのこや竹林に親しんでもらおうと、広大な竹林が広がる藤山・駒込地区のJA野菜集出荷場で、「竹のこフェアーフジコマ2003」が開催されました。

あくが少なく柔らかいのが特徴の朝取りたけのこ。この朝とれたばかりのたけのこ350kgが飛ぶように売れていました。また、炭火で焼いて味噌をつけて食べる焼きたけのこ、お湯に通して食べるたけのこしゃぶしゃぶ、500食分のたけのこ汁とたけのこご飯のサービスにも長蛇の列ができました。また、多くの家族連れなどがクワを手に、たけのこ掘りを体験。新潟市から訪れた夫婦は「たけのこ掘りは思っていたよりも大変。でも、子どもたちはとても喜んでいます」と感想を述べていました。

このほか、竹とんぼや竹馬を作る竹細工教室、新鮮な地元野菜、農産物の加工品、よこごしボーグの販売なども行われ、町内外から訪れた人たちで大賑わいでした。

